

工 事 番 号							
設計年度	令和5年度		橋梁補修工事（市道本郷町鬼の釜1号線姥ヶ原橋）  三原市 本郷町船木				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
施工内容 橋梁補修 N=1橋 断面補修工 V=0.03m3 塗装塗替 A=23.3m2 伸縮装置補修工 L=12.2m 仮設工 1式							

仕 様 書

# 特記仕様書

## 第1章 総則

### 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市本郷町船木 橋梁補修工事（市道本郷町鬼の釜1号線姥ヶ原橋）に適用する。
  - 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
    - ・土木工事共通仕様書（令和5年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）
    - ・特記仕様書（共通事項）（令和5年8月）広島県
- ※ 土木工事共通仕様書、特記仕様書（共通事項）は「広島県の調達情報」に掲載している。  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>
- ・その他関連規格類

### 第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。  
広島県工事中情報共有システム  
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

### 第3節 法令及び条例等の遵守

- 1 次の内容について、施工計画書の「その他」項目に記載すること。
  - (1) 工事の実施にあたり、発注者から明示された、又は、受注者が行うべき「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
  - (2) 上記(1)の内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
  - (3) 上記(1)、(2)の内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
- 2 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映すること。
- 3 「法令及び条例等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工計画書の内容に重要な変更が生じたものとし、変更施工計画書を提出すること。

### 第4節 建設副産物

本工事における建設副産物については、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

## 2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

[https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page\\_03060101credas1top.htm](https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm)

## 3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

## 4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

## 5 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

## 6 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

## 第2章 施工条件

### 第1節 工程

#### 1 施工時期・時間の制限

施工内容	工事全般
時期	全工事期間
時間	調整による
施工方法・理由	工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

### 第2節 用地

#### 1 現場の復旧 原形復旧とする。

### 第3節 安全対策

#### 1 交通誘導員・警戒船・保安要員 それぞれの橋で作業期間中、交通誘導員を2（人／日）配置すること。

### 第4節 工事用道路

#### 1 一般道路

使用期間	工事施工期間
使用時間	8時～17時
工事中・後の処理	随時 清掃，工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

#### 第5節 建設副産物

##### 1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m<sup>2</sup>以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

#### 第6節 その他

##### 1 工所用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

##### 2 各補修工の事前調査

1) 受注者は、洗浄後に本図をもとに詳細計測、試験を行い、補修数量の協議を発注者と行った後、補修を行うこと。

### 第3章 工事保険等

#### 第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

### 第4章 その他

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

# 数量総括表

— 橋梁補修工事（市道本郷町鬼の釜1号線姥ヶ原橋） —

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
舗装工		式	1	レベル2
路面切削工		式	1	レベル3
路面切削	【全面切削6cm以下(4000m2以下)】 【段差すりつけ撤去作業の有】	m2	55	レベル4
殻運搬(路面切削)	【アスファルト殻】	m3	3	レベル4
殻処分	【アスファルト殻】	m3	3	レベル4
舗装打換え工		式	1	レベル3
表層	【再生密粒度アスファルト混合物(20),平均	m2	55	レベル4
橋梁付属物工		式	1	レベル2
伸縮継手工		式	1	レベル3
目地補修工 t=30mm		m	6	レベル4
目地補修工 t=40mm		m	6	レベル4
橋梁補修工		式	1	レベル2
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	【ポリマーセメント】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】	構造物	1	レベル4
表面処理工		式	1	レベル3
表面処理工		m2	0.1	レベル4

# 工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
現場塗装工		式	1	レベル2
橋梁塗装工		式	1	レベル3
素地調整	【3種ケレンA】	m2	0.9	レベル4
下塗（防食下地）	【弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料（鋼材露出	m2	0.9	レベル4
下塗	【弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料，支承，塗装	m2	0.9	レベル4
中塗	【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料（淡彩），支承，塗	m2	0.9	レベル4
上塗	【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料（淡彩），支承，塗	m2	0.9	レベル4
道路付属構造物塗装工		式	1	レベル3
素地調整	【3種ケレンA】	m2	22	レベル4
下塗	【鉛・クロムフリーさび止めペイント，防護柵	m2	22	レベル4
中塗	【長油性フタル酸樹脂塗料（淡彩），防護柵，	m2	22	レベル4
上塗	【長油性フタル酸樹脂塗料（淡彩），防護柵，	m2	22	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻（無筋）】	m3	0.03	レベル4
殻処分	【コンクリート殻（無筋）】	m3	0.03	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3

# 工事数量総括表

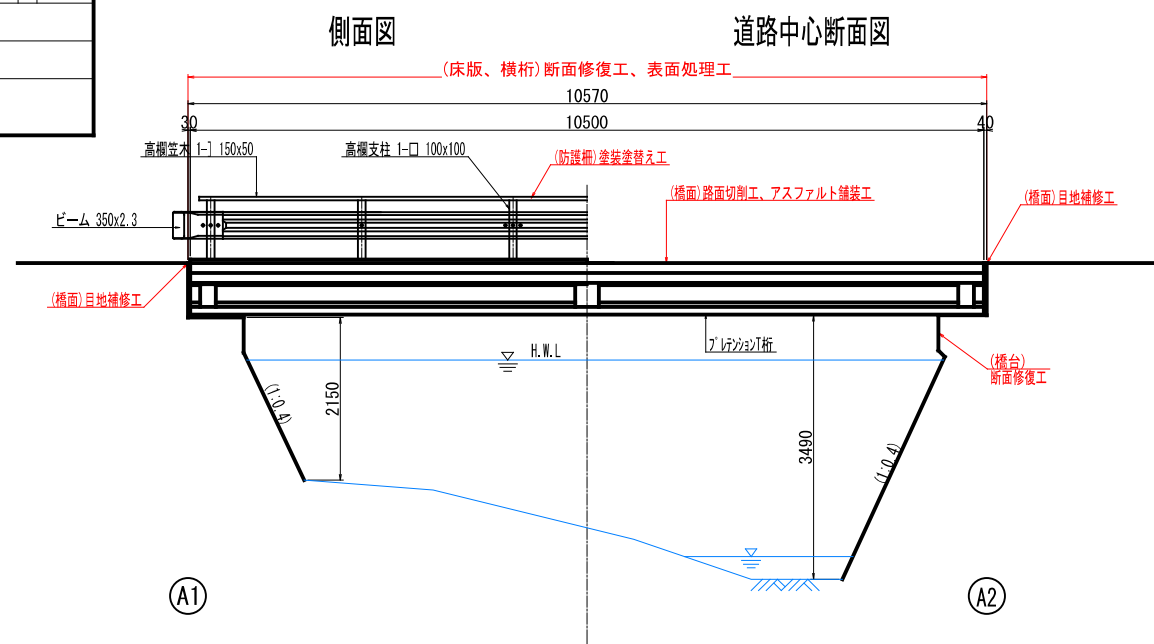
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
足場工		式	1	レベル4
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		式	1	レベル4
** 直接工事費 **				
共通仮設費率分				
** 共通仮設費計 **				
** 純工事費 **				
現場管理費				
** 工事原価 **				
一般管理費率分				
一般管理費計				
** 工事価格 **				
** 消費税相当額 **				
** 工事費計 **				



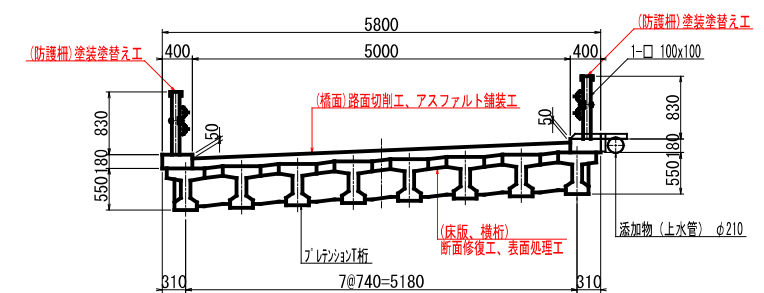
図面番号	1/6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町鬼の釜1号線蛇ヶ原橋)		
種別	補修一般図		
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
<b>三原市</b>			

# 補修一般図 S=1:50

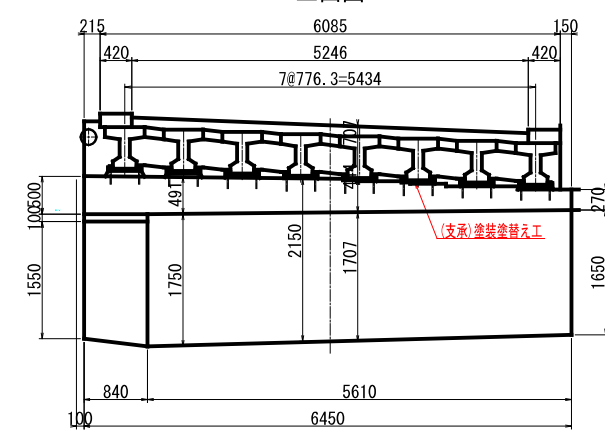
縦断方向図面



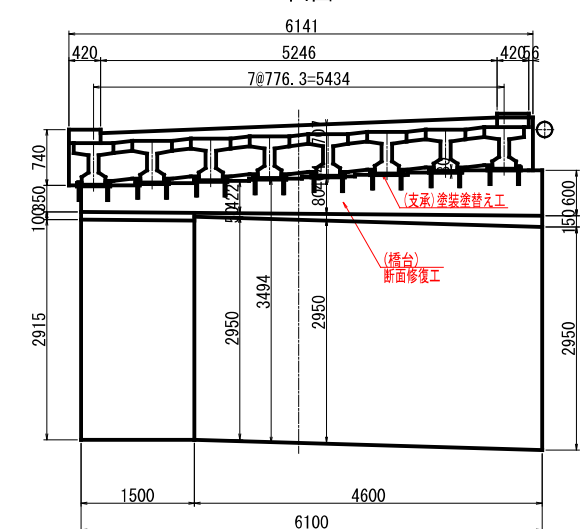
標準横断面図



A1橋台正面図

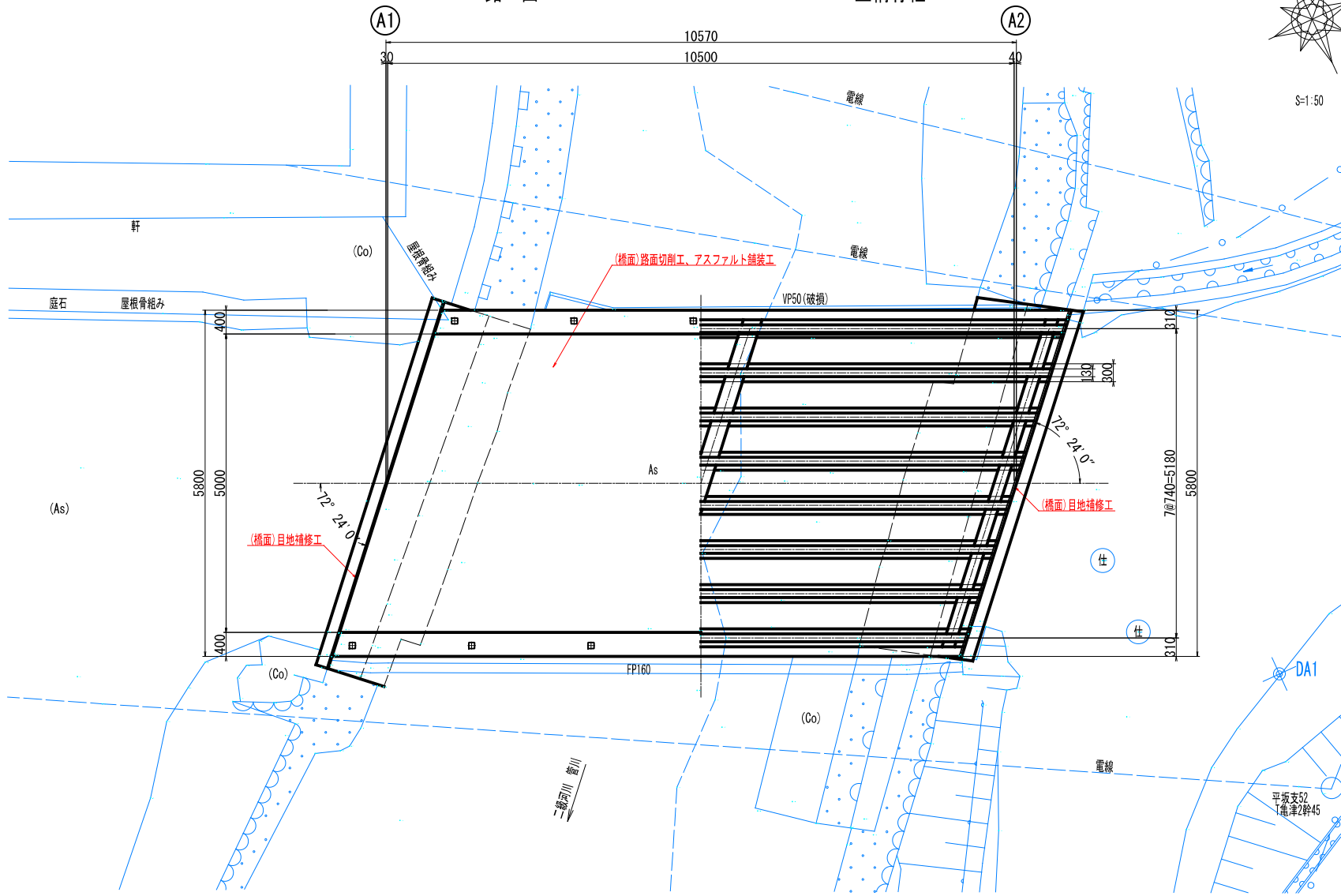


A2橋台正面図



路面 平面図

主構骨組



橋梁補修一覧表

工種	対象部材	内容
断面修復工 (左官工法)	床版	劣化コンクリートの除去後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
表面処理工	床版、横桁	躯体表面を洗浄後、セメントペーストを塗布する。
塗装塗替え工	支承	腐食、発錆している部分のさびを除去後、Rc-III塗装仕様にて塗替えを行う。
断面修復工 (左官工法)	橋台	劣化コンクリートの除去後、ポリマーセメント系材料にて復旧する。
アスファルト舗装工 (路面切削工)	舗装	既設舗装を切削後、アスファルト舗装を施工する。
目地補修工	伸縮装置	施工箇所の清掃後、目地材を充填する。
塗装塗替え工	防護柵	腐食、発錆している部分のさびを除去後、Rc-III塗装仕様にて塗替えを行う。

注  
1. 施工に当っては現地計測の上、施工数量を決定のこと。  
2. 劣化部位の位置と範囲は、打音検査等により適宜確認のこと。

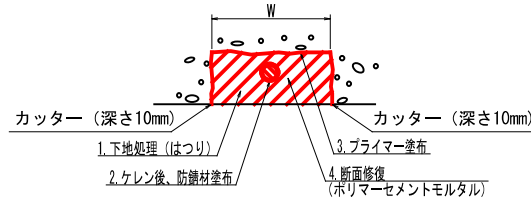
橋梁補修元表

路線名	鬼の釜1号線
橋名	蛇ヶ原橋
橋種	PC単純プレキャスト橋
橋桁	不明
橋長	10.570m
有効幅員	5.000m
橋台形式	重力式橋台
竣工年	1965年
交差物件	二級河川 菅川

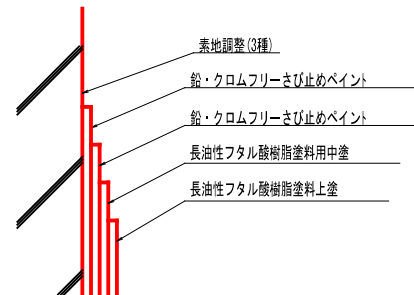
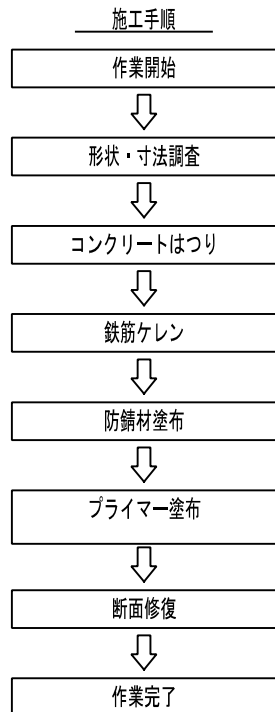
図面番号	2 6	縮尺	無
工種	橋梁補修工事（市道本郷町鬼の釜1号線蛇ヶ原橋）		
種別	補修詳細図	番号	
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

## 補修詳細図

### 断面修復工(左官工法)



- 鉄筋周辺のうきおよび劣化したコンクリートは除去すること。
- はつり断面はフェザーエッジを形成しない様、注意すること。
- 端部は、L字カットを行うこと。
- 断面修復は、原形復旧を基本とする。
- 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。



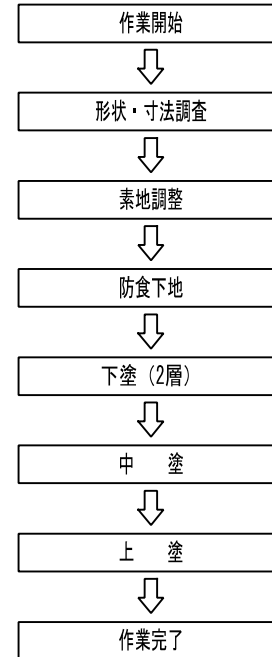
塗装仕様：Ra-Ⅲ塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント (鋼材露出部のみ)	(140)	1日~10日
下塗	鉛・クロムフリーさび止めペイント	140	1日~10日
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料用中塗	120	2日~10日
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料上塗	110	

- 素地調整の種類は3種ケレンを想定。
- 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- 塗布面のケレンは十分に行うこと。
- 気温5℃以下、湿度85%以上では施工しないこと。
- 塗布量は標準使用量以上とする。
- 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- 降雨、降雪のとき、またはその恐れがある時は使用しないこと。
- 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

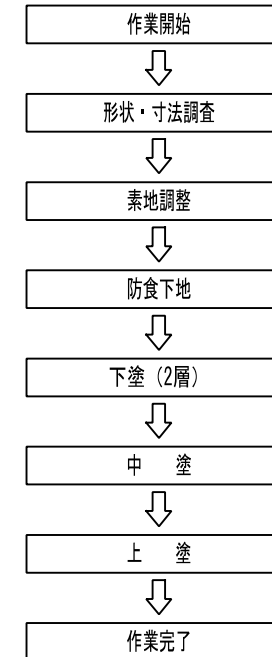
### 塗装塗替え工 ガードレール

### 施工手順



### 塗装塗替え工 支 承 (Rc-Ⅲ)

### 施工手順

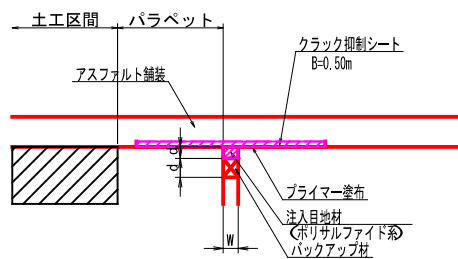


塗装仕様：Rc-Ⅲ塗装系

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m <sup>2</sup> )	塗装間隔
素地調整	3種		4時間以内
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗 (鋼材露出部のみ)	(200)	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日~10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料用中塗	140	2日~10日
上塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料上塗	120	

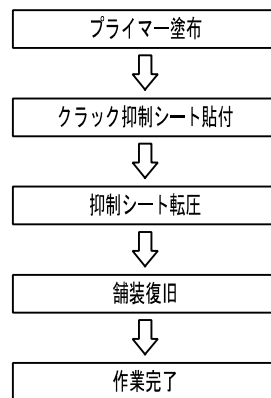
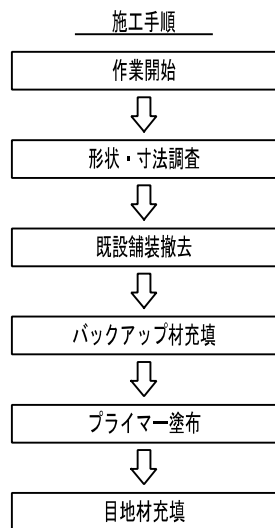
- 素地調整の種類は3種ケレンを想定。
- 十分な接着効果を得るために、施工対象となる鋼材面の不純物(油、ゴミ等)を十分に除去すること。
- 塗布面のケレンは十分に行うこと。
- 気温5℃以下、湿度85%以上では施工しないこと。
- 塗布量は標準使用量以上とする。
- 施工後の材料が乾燥するまで、塗布面が濡れないこと。
- 降雨、降雪のとき、またはその恐れがある時は使用しないこと。
- 材料は可使用時間内に塗布を行い、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。

### 目地補修工



記号	A1橋台側	A2橋台側	備考
W	30	40	
d	60	80	

- 床版上面とバラベットの高低が異なる場合は、コンクリートにて高さ調整を行うこと。
- コンクリート部を平らに仕上げ、レイタンス、水分の除去を十分に行うこと。
- プライムコートは十分に乾燥するまで行うこと。
- クラック抑制シート端部の処理は、はがれ等が発生しないよう入念に行うこと。
- 敷設後はできるだけ早い時期に舗装を行うこと。

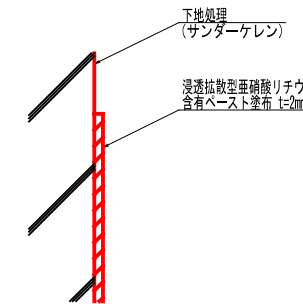


補修工法凡例

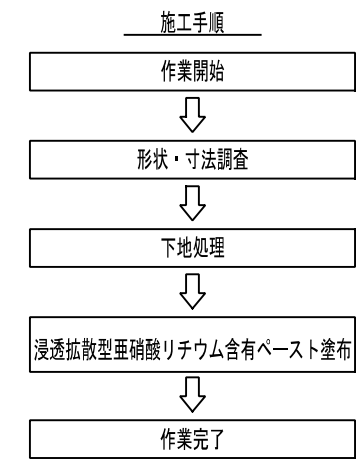
損 傷	記 号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		表面処理工

注記) 施工に当っては現地計測の上、施工数量を決定の事

### 表面処理工



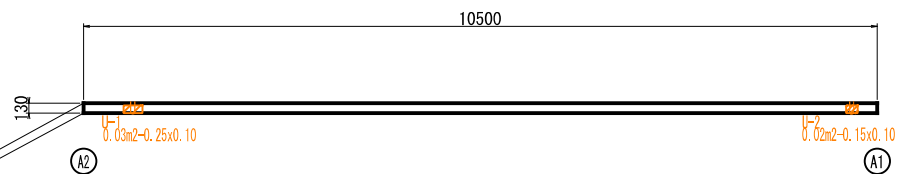
- コンクリート表面のサンダーケレンは十分に行うこと。
- 材料は可使用時間内に使用し、可使用時間を過ぎたものについては使用しないこと。



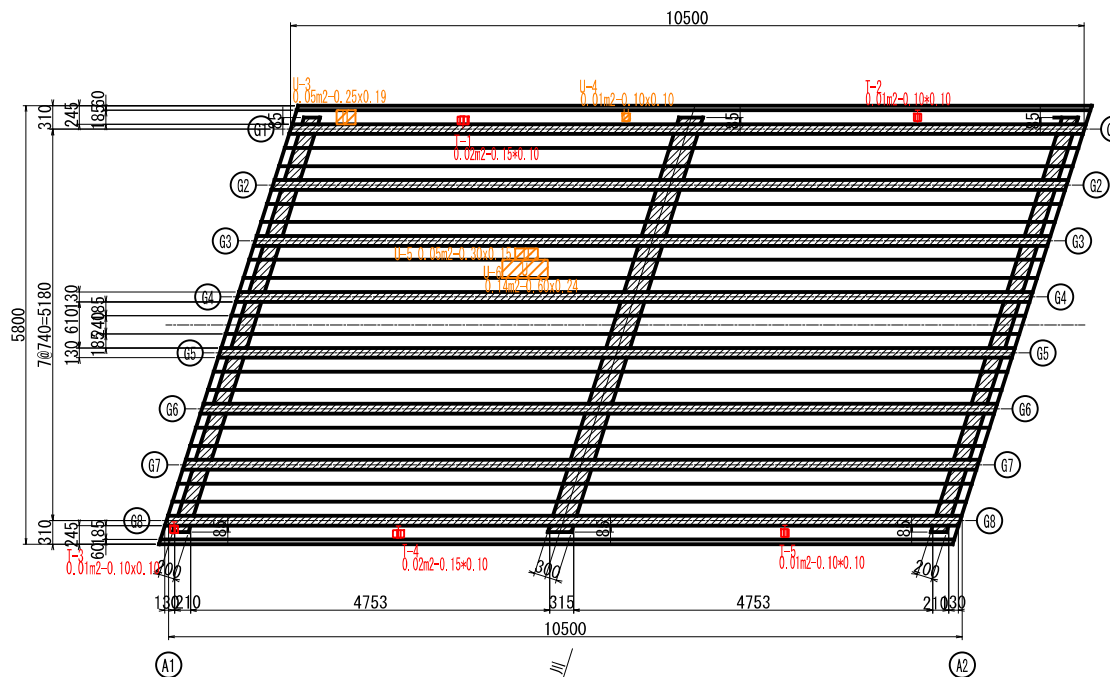
図面番号	3 6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町鬼の釜1号線橋々原橋)		
種別	上部工補修図(1/2)	番号	
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
<b>三原市</b>			

# 上部工補修図(1/2) S=1:50

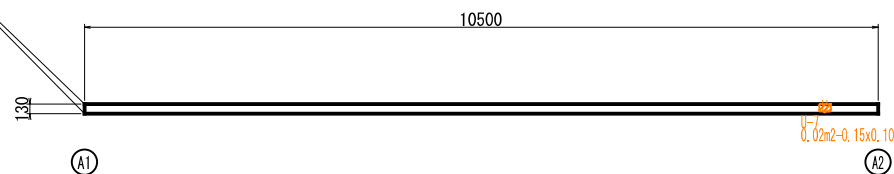
床版左側面図



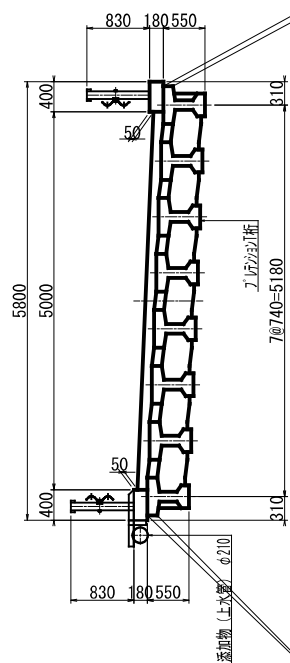
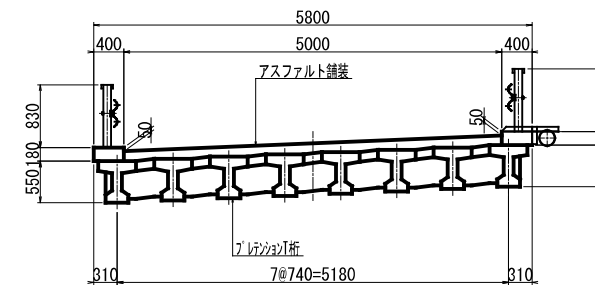
床版下面図



床版右側面図



標準横断面図



数量表(床版)

位置	断面修復(m <sup>2</sup> )				表面処理工			
	浮き・剥離		変形・欠損		剥落・鉄筋露出			
	U		K		T			
	縦 × 横 =	面積	縦 × 横 =	面積	縦 × 横 =	面積	面積	面積
0101	U-1	0.25 × 0.10 =	0.03			T-1	0.15 × 0.10 =	0.02
	U-2	0.15 × 0.10 =	0.02			T-2	0.10 × 0.10 =	0.01
	U-3	0.25 × 0.19 =	0.05					
0401	U-4	0.10 × 0.10 =	0.01					
	U-5	0.30 × 0.15 =	0.05					
0204	U-6	0.60 × 0.24 =	0.14					
0901	U-7	0.15 × 1.00 =	0.15			T-3	0.10 × 0.10 =	0.01
						T-4	0.15 × 0.10 =	0.02
						T-5	0.10 × 0.10 =	0.01
合計			0.45				0.07	
			断面修復合計	0.45			鉄筋処理工	0.07

補修工法凡例

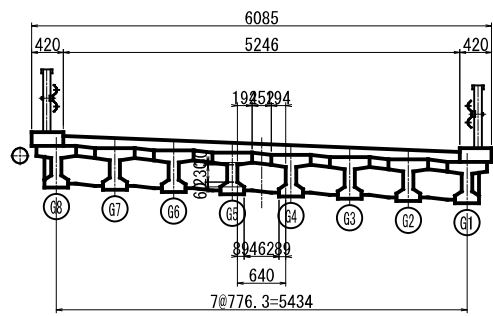
損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き・剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	U	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	K	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	T	表面処理工

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

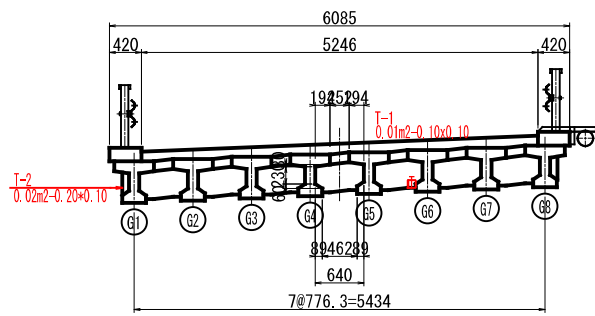
図面番号	4 6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町鬼の釜1号線橋々原橋)		
種別	上部工補修図 (2/2)	番号	
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

## 上部工補修図 (2/2) S=1:50

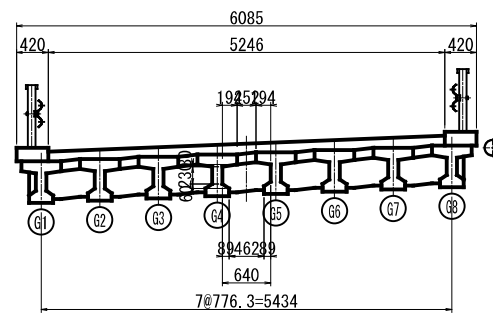
A1支点横桁  
正面図



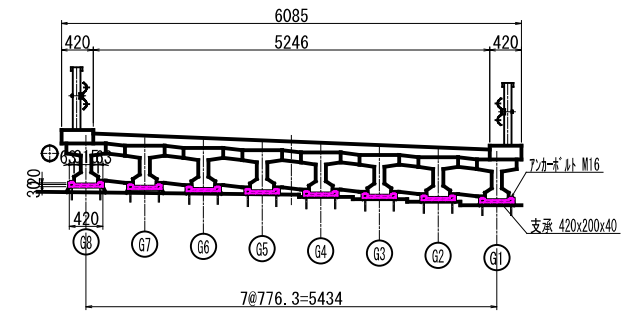
中間横桁部  
起点側正面図



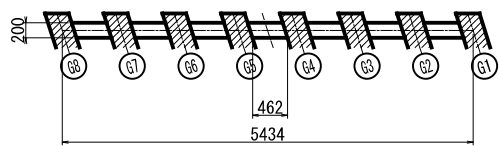
A2支点横桁  
正面図



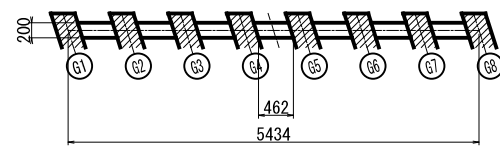
A1支承  
正面図



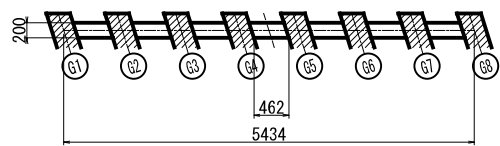
下面図



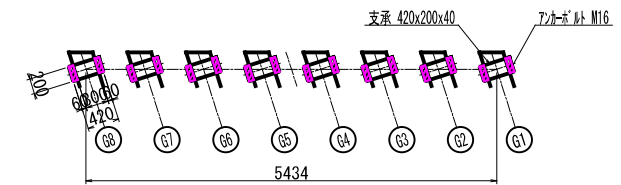
下面図



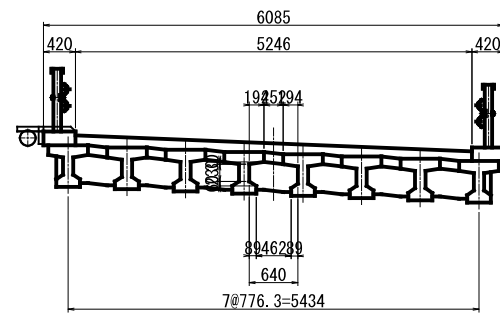
下面図



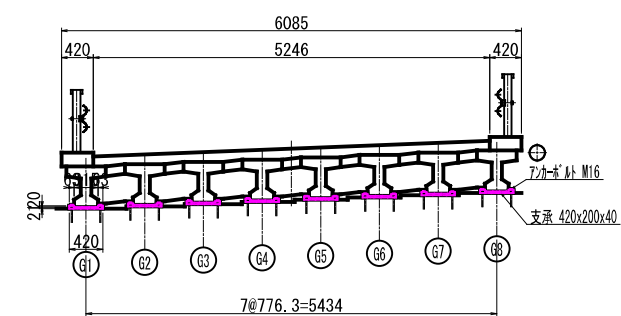
平面図



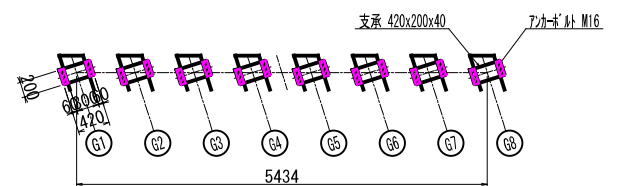
終点側正面図



A2支承  
正面図



平面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.08x2=0.40x0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.08x2=0.40x0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.08x2=0.40x0.20	表面処理工

注記) 施工に当たっては現地計測の上 施工数量を決定の事

数量表(横桁)

位置	表面処理工		
	剥落・鉄筋露出		
		縦 × 横 =	面積
0502	T-1	0.10 × 0.10 =	0.01
0102	T-2	0.20 × 0.10 =	0.02
合計			0.03

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
腐食、防食機能の劣化	(斜線記号)	塗装塗替え工

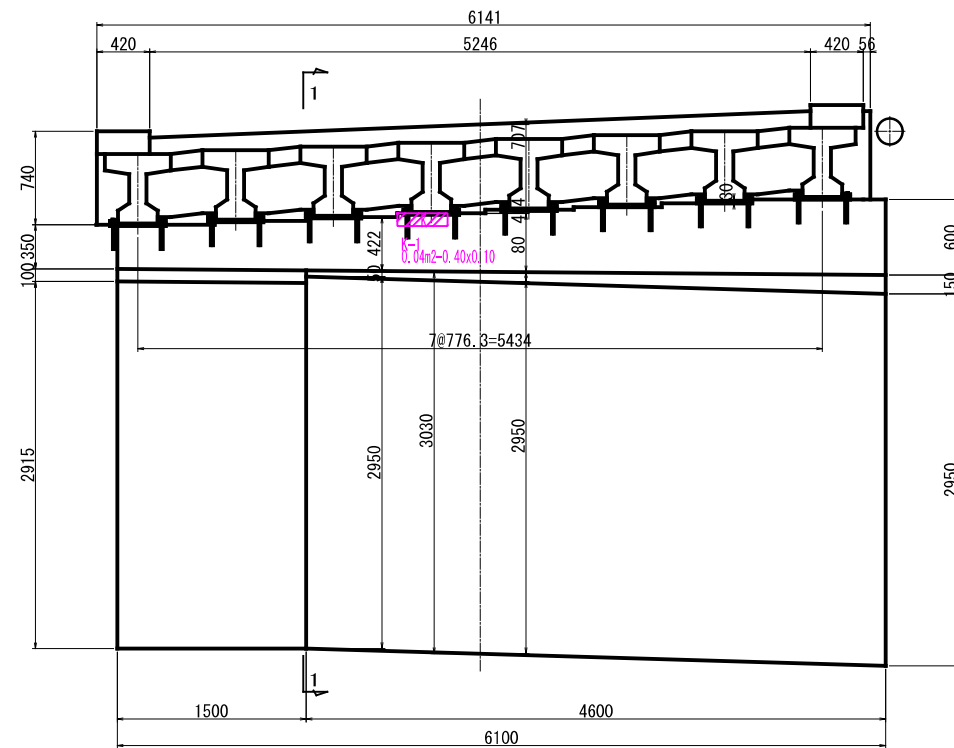
注記) 塗装塗り替えを行う主要鋼材寸法を示す。  
 塗装面積は数量計算書を参照。  
 施工にあたっては現地計測の上、施工数量を決定する。  
 塗装仕様はRc-IIIとする。

図面番号	5 6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町鬼の釜1号線蛇ヶ原橋)		
種別	下部工補修図	番号	
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
三原市			

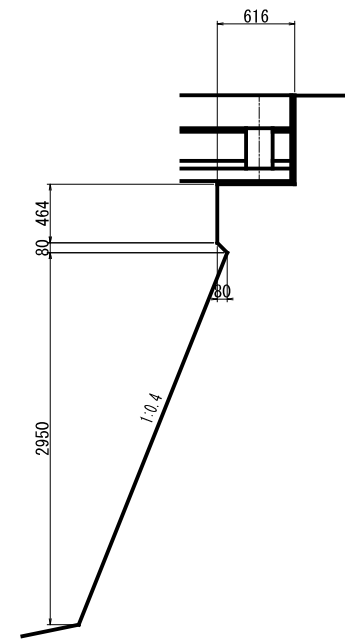
## 下部工補修図 S=1:30

### A2橋台

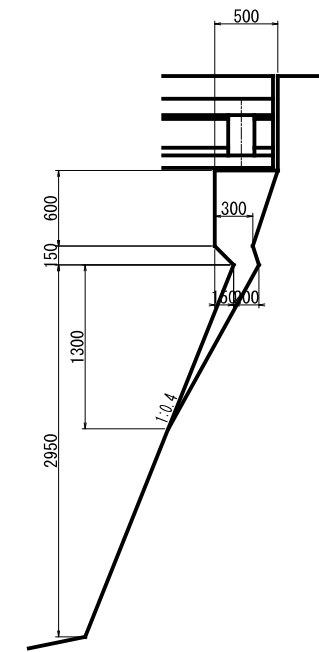
正面図



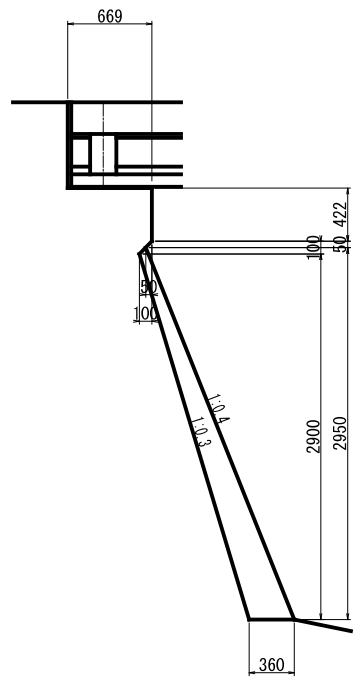
横断面図 (道路中心部)



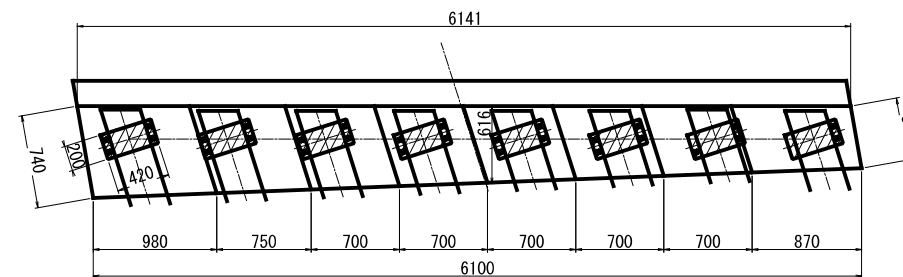
右端側面図



1-1 断面



平面図 (沓座面)



補修工法凡例	損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅*高さ(m)を示す。	0.08m <sup>2</sup> -0.40x0.20		断面修復工
変形・欠損 図中の数値は幅*高さ(m)を示す。	0.08m <sup>2</sup> -0.40x0.20		断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は幅*高さ(m)を示す。	0.08m <sup>2</sup> -0.40x0.20		表面処理工

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事

数量表 (A2橋台)

位置	断面修復 (m <sup>2</sup> )		
	変形・欠損 K		
	縦	横	面積
縦断正面	K-1	0.40 x 0.10=	0.04
合計			0.04

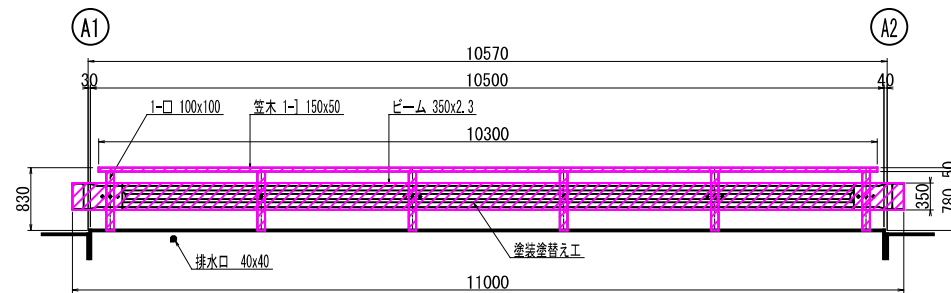
図面番号	6 / 6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町鬼の釜1号線蛇ヶ原橋)		
種別	路面工補修	番号	
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
<b>三原市</b>			

## 路面工補修図 S=1:50

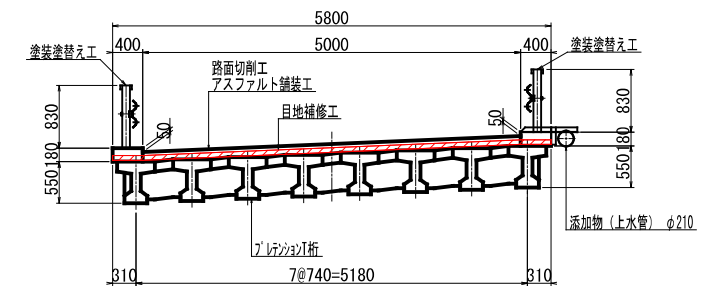
損傷	記号	補修対策工法
腐食、防食機能の劣化		塗装塗替え工

注記) 塗装塗り替えを行う主要部材寸法を示す。  
 塗装面積は数量計算を参照。  
 施工にあたっては現地計測の上、施工数量を決定する。  
 塗装仕様はRc-IIIとする。

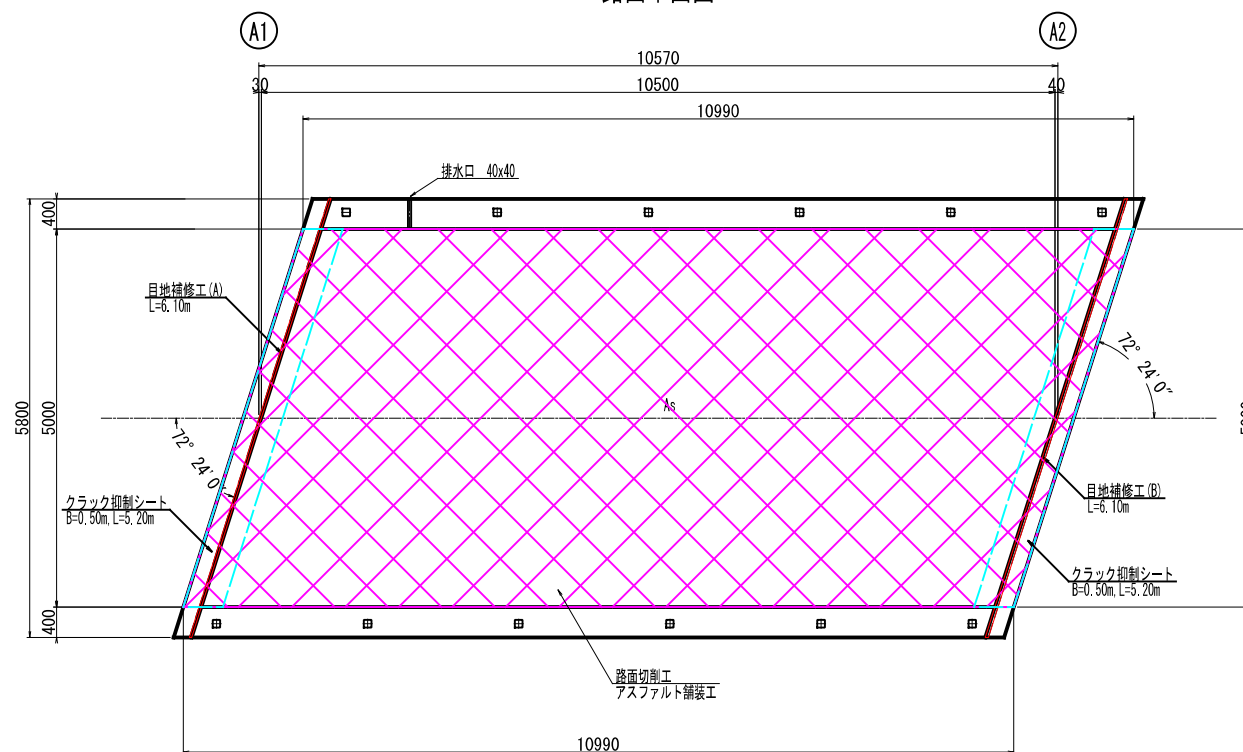
### 左側車両防護正面図



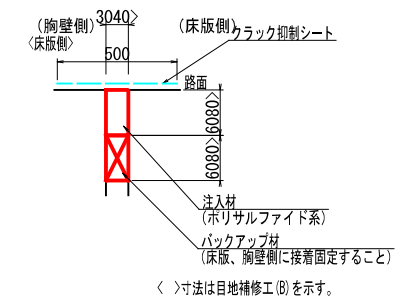
### 標準横断面図



### 路面平面図



### 目地補修工 S=1:5

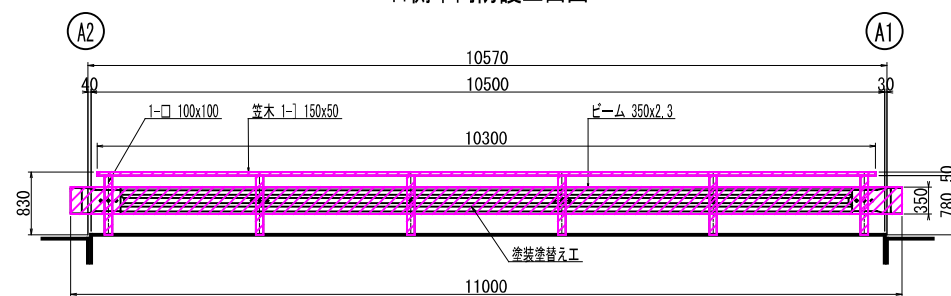


路面切削工	
アスファルト舗装工	

工種	規格仕様	単位	算式	数量
路面切削工	路面切削 (t=5cm)	m <sup>2</sup>	10.99x5.00	54.95
	縦処分 (As)	m <sup>3</sup>	54.95x0.05	2.8
	横処分 (As)	m <sup>3</sup>	2.8x2.35	6.6
舗装工	アスファルト舗装 (t=5cm)	m <sup>2</sup>	10.99x5.00	54.95

注記) 施工に当っては現地計測の上、施工数量を決定の事

### 右側車両防護正面図



# 参 考 資 料

— 橋梁補修工事（市道本郷町鬼の釜1号線姥ヶ原橋） —

# 総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日  諸経費体系	0 65 三原市(本郷) 00-05.09.01(0)  1 公共(一般)	凡例 Co … コンクリート      As … アスファルト DT … ダンプトラック      BH … バックホウ CC … クローラクレーン      TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 03 補正しない	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
路面切削工	1	式			Y1G030401 レベル3
路面切削 【全面切削6cm以下(4000m2以下)】 【段差すりつけ撤去作業の有】	1	式			Y1G03040101 レベル4
路面切削 全面切削6cm以下(4000m2以下) 段差すりつけの撤去作業有り	55	m2			SPK23040303 00  単第0 -0001 表
殻運搬(路面切削) 【アスファルト殻】	3	m3			Y1G03040102 レベル4
殻運搬(路面切削) DID区間無し 運搬距離6.5km以下(5.5km超)	3	m3			SPK23040304 00  単第0 -0002 表
殻処分 【アスファルト殻】	3	m3			Y1G03040103 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
アスファルト殻処分費					#0041
	7	t			F0000000001 00
舗装打換え工					Y1G030402 レベル3
	1	式			
表層 【再生密粒度アスファルト混合物(20),平均					Y1G03040211 レベル4
	55	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm					SPK23040241 00
	55	m2			単第0 -0003 表
橋梁付属物工					Y1G0321 レベル2
	1	式			
伸縮継手工					Y1G032101 レベル3
	1	式			
目地補修工 t=30mm					Y4999 レベル4
	6	m			
目地補修工					V0001 00
	6	m			単第0 -0004 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
目地補修工 t=30mm 材料費 中詰材、クラック抑制シート	6	m			V0002 00 単第0 -0005 表
目地補修工 t=40mm	6	m			Y4999 レベル4
目地補修工	6	m			V0001 00 単第0 -0004 表
目地補修工 t=40mm 材料費 中詰材、クラック抑制シート	6	m			V0003 00 単第0 -0006 表
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【ポリマーセメント】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理有】	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.1m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0007 表
表面処理工	1	式			Y1G032406 レベル3

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面処理工					Y4999 レベル4
	0.1	m2			
表面処理工					V0004 00
	0.1	m2			単第0 -0008 表
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
橋梁塗装工					Y1G032501 レベル3
	1	式			
素地調整 【3種ケレンA】					Y1G03250101 レベル4
	0.9	m2			
塗替塗装 素地調整					SDT00029 00
	0.9	m2			単第0 -0009 表
下塗(防食下地) 【弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料(鋼材露出					Y1G03250102 レベル4
	0.9	m2			
塗替塗装 下塗り塗装					SDT00029 00
	0.9	m2			単第0 -0010 表
下塗 【弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料, 支承, 塗装					Y1G03250102 レベル4
	0.9	m2			

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 下塗り塗装	0.9	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
中塗 【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料（淡彩）, 支承, 塗	0.9	m2			Y1G03250103 レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	0.9	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
上塗 【弱溶剤形ふっ素樹脂塗料（淡彩）, 支承, 塗	0.9	m2			Y1G03250104 レベル4
塗替塗装 上塗り塗装	0.9	m2			SDT00029 00 単第0 -0013 表
道路付属構造物塗装工	1	式			Y1G032502 レベル3
素地調整 【3種ケレンA】	22	m2			Y1G03250201 レベル4
素地調整 防護柵類	22	m2			SPK23040311 00 単第0 -0014 表
下塗 【鉛・クロムフリーさび止めペイント, 防護柵	22	m2			Y1G03250202 レベル4

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
付属構造物塗替 鉛・クロムフリー錆止めペイント 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類	22	m2			SPK23040312 00  単第0 -0015 表
中塗 【長油性フタル酸樹脂塗料（淡彩）,防護柵,	22	m2			Y1G03250203レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	22	m2			SPK23040312 00  単第0 -0016 表
上塗 【長油性フタル酸樹脂塗料（淡彩）,防護柵,	22	m2			Y1G03250204レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	22	m2			SPK23040312 00  単第0 -0017 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【コンクリート殻（無筋）】	0.03	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)	0.03	m3			SPK23040152 00  単第0 -0018 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻処分 【コンクリート殻（無筋）】	0.03	m3			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻処分費（無筋）	0.06	t			F0000000008 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y3999 レベル3
足場工	1	式			Y4999 レベル4
足場工（床版補強工） 桁高1.5m未満	53	m2			S3030011 00 単第0 -0019 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	53	m 2			S3030013 00 単第0 -0020 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	53	m 2			S3030015 00 単第0 -0021 表

# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
	6	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	6	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					



# 本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
**工事原価**					
一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
一般管理費計					
**工事価格**					
**消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率.....					
**工事費計**					

# 施工単価表

路面切削  
全面切削6cm以下(4000m2以下)

SPK23040303

単第0 -0001 表

段差すりつけの撤去作業有り

1

m2 当り

機械構成比: 53.46% 労務構成比:

34.47%

材料構成比: 12.07%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

531.38000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm	32.54%		路面切削機 ホイール式・廃材積込装置付・排3 切削幅2.0m×深さ23cm		MTPC00136 MTPT00136
路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3	6.49%		路面清掃車 ブラシ・四輪式(走) ホッパ容量1.5m3		MTPC00072 MTPT00072
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	12.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	3.54%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	3.43%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.38%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013



# 施工単価表

殻運搬(路面切削)

SPK23040304

単第0 -0002 表

DID区間無し

運搬距離6.5km以下(5.5km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.46%

労務構成比:

43.37%

材料構成比:

14.17%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,168.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.46%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	43.37%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.17%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 DID区間無し C=1 -(全ての費用)			B=14 運搬距離6.5km以下(5.5km超)		

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.71%

労務構成比: 11.14%

材料構成比: 87.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,458.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3~6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.09%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10~12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.17%		ロードローラ [マカダム]質量10t~12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	2.29%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	2.23%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	0.78%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

# 施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK23040241

単第0 -0003 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.71%

労務構成比: 11.14%

材料構成比: 87.15%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,458.60000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	83.67%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.75%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.61%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					











# 施工単価表

表面処理工

V0004

単第0 -0008 表

頁0 -0020

0.1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	1	人			
表面処理工 亜硝酸リチウム含有ペースト（パウダー）	1	袋			
表面処理工 亜硝酸リチウム含有ペースト（混和剤）	1	缶			
雑材料	5	%			#09
*** 合計 ***	0.1	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

# 施工単価表

塗替塗装  
素地調整

SDT00029

単第0 -0009 表

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 素地調整_3種ケレンA 時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 C=3 3種ケレンA(動力工具と手工具の併用) I=1 時間的制約なし			B=2 素地調整 H=1 -		







# 施工単価表

塗替塗装  
上塗り塗装

SDT00029

単第0 -0013 表

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 上塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩 はけ・ローラー,時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=3 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料 G=2 淡彩			B=6 上塗り塗装 F=1 はけ・ローラー H=1 -		
I=1 時間的制約なし					





# 施工単価表

付属構造物塗替

SPK23040312

単第0 -0015 表

鉛・クロムフリー錆止めペイント 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 93.32% 材料構成比: 6.68% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,093.00000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	91.50%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
鉛・クロムフリー錆止めペイント	6.68%		鉛・クロムフリー錆止めペイント		TTPC00386 TTPT00386
積算単価			積算単価		EP001
A=1 G=1 鉛・クロムフリー錆止めペイント 下塗 淡彩 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

# 施工単価表

付属構造物塗替

SPK23040312

単第0 -0016 表

長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.27%

材料構成比: 5.73%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,081.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.43%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 中塗用,白	5.73%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 中塗用		TTPCD0173 TTPT00069
積算単価			積算単価		EP001
A=9 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

# 施工単価表

付属構造物塗替

SPK23040312

単第0 -0017 表

長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.29%

材料構成比: 5.71%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,081.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.45%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 上塗用,白	5.71%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 上塗用		TTPCD0185 TTPT00070
積算単価			積算単価		EP001
A=23 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

# 施工単価表

殻運搬

SPK23040152

単第0 -0018 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 42.35% 労務構成比:

42.40% 材料構成比: 15.25% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,244.30000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	42.35%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	42.40%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	15.25%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		









# 数量計算書

# 設計数量総括表

姥ヶ原橋

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量区分	単位	計算数量	設計数量	摘要
橋梁補修	断面修復工	ポリマーセメントモルタル	浮き・剥離	d= 5cm		m2	0.45	0.45	
			変形・欠損			m2	0.04	0.04	
			断面修復工計			m2	0.49	0.50	
			1層t=50mm			m3	0.025	0.025	
	表面処理工		鉄筋露出	サンダーケレン 浸透拡散型亜硝酸リチウム 含有ペースト		m2	0.10	0.1	
						m2	0.10	0.1	
	塗装塗替工	支承 (Rc-Ⅲ)	下地処理工	3種ケレンA		m2	0.90	1	
			下塗り、中塗り、上塗り	RC-Ⅲ		m2	0.90	1	
		ガードレール (Ra-Ⅲ)	下地処理工	3種ケレンA		m2	22.44	22	
			下塗り、中塗り、上塗り	Ra-Ⅲ		m2	22.44	22	
伸縮装置	目地補修工(A)		目地切削工			m	6.10	6	
			常温注入目地			m	6.10	6	
			注入材	ポリサルファイド系		kg	14.6	15	
			バックアップ材	ウレタン系		リットル	11.0	11	
			目地補修工(B)			m	6.1	6	
			常温注入目地			m	6.1	6	
			注入材	ポリサルファイド系		kg	26.0	26	
			バックアップ材	ウレタン系		リットル	19.5	20	
	クラック抑制工		クラック抑制シート	B=0.50m		m	10.4	10	
舗装工	アスファルト舗装工		アスファルト舗装	再生密粒度アスコン(20) t=5cm		m2	54.95	55	
構造物撤去工	コンクリート(無筋)		殻運搬処理	t=5cm		m3	0.025	0.03	
				単位重量 2.35t/m3		t	0.059	0.06	
		路面切削工	アスファルト	t=5cm		m2	55.0	55	
		運搬処理工	殻運搬処理	アスファルト殻 単位重量 2.35t/m3		m3	2.8	3	
						t	6.6	7	
仮設工	足場工		吊り足場	桁高<1.5	シート張り・両側朝顔	m2	53.4	53	

1.補修数量集計表

工種	種別	細別	規格	単位	数量									
					上部工			下部工			路面工			合計
					床版	横桁	小計	A1橋台	A2橋台	小計	車道部		小計	
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	浮き・剥離	d= 5cm	m2	0.45	-	0.45	-	-	-	-	-	-	0.45
		変形・欠損		m2	-	-	-	-	0.04	0.04	-	-	-	0.04
		断面修復工計		m2	0.45	-	0.45	-	0.04	0.04	-	-	-	0.49
		1層t=50mm		m3	0.023	-	0.023	-	0.002	0.002	-	-	-	0.025
表面処理工	鉄筋露出	サンダーケレン		m2	0.07	0.03	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10
		浸透拡散型亜硝酸リチウム含有ペースト		m2	0.07	0.03	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10
塗装塗替工	支承 (Rc-Ⅲ)	下地処理工	3種ケレンA	m2	-	-	-	0.45	0.45	0.90	-	-	-	0.90
		下塗り、中塗り、上塗り	Rc-Ⅲ	m2	-	-	-	0.45	0.45	0.90	-	-	-	0.90
	ガードレール (Ra-Ⅲ)	下地処理工	3種ケレンA	m2	-	-	-	-	-	-	22.44	-	22.44	22.44
		下塗り、中塗り、上塗り	Ra-Ⅲ	m2	-	-	-	-	-	-	22.44	-	22.44	22.44
舗装工	アスファルト舗装工	アスファルト舗装	再生密粒度アスコン(13) t=5cm	m2	-	-	-	-	-	-	54.95	-	54.95	54.95
	目地補修工(A)	目地切削工		m	-	-	-	-	-	-	6.1	-	6.1	6.1
		常温注入目地		m	-	-	-	-	-	-	6.1	-	6.1	6.1
		注入材	ポリサルファイド系	kg	-	-	-	-	-	-	14.6	-	14.6	14.6
		バックアップ材	ウレタン系	リットル	-	-	-	-	-	-	10.98	-	10.98	11.0
	目地補修工(B)	目地切削工			m	-	-	-	-	-	6.1	-	6.1	6.1
		常温注入目地			m	-	-	-	-	-	6.1	-	6.1	6.1
		注入材	ポリサルファイド系		kg	-	-	-	-	-	26.0	-	26.0	26.0
		バックアップ材	ウレタン系		リットル	-	-	-	-	-	19.5	-	19.5	19.5
	クラック抑制工	クラック抑制シート	B=0.50m	m	-	-	-	-	-	-	10.4	-	10.4	10.4



## 2.上部工補修数量

### 2-1.床版

位置	断面修復工						表面処理工			
	浮き・剥離			変形・欠損			鉄筋露出			
	U			K			T			
		縦 × 横 =	面積		縦 × 横 =	面積		縦 × 横 =	面積	
0101	U-1	0.25 × 0.10=	0.03				T-1	0.15 × 0.10=	0.02	
	U-2	0.15 × 0.10=	0.02				T-2	0.10 × 0.10=	0.01	
	U-3	0.25 × 0.19=	0.05							
	U-4	0.10 × 0.10=	0.01							
0401	U-5	0.30 × 0.15=	0.05							
0204	U-6	0.60 × 0.24=	0.14							
0901	U-7	0.15 × 1.00=	0.15				T-3	0.10 × 0.10=	0.01	
							T-4	0.15 × 0.10=	0.02	
							T-5	0.10 × 0.10=	0.01	
合計			0.45					0.00	0.07	



### 3.下部工補修数量

3-1.A2橋台

位置	断面修復工(m2)								
	浮き・剥離 U			鉄筋露出 T			変形・欠損		
	縦	横	面積	縦	横	面積	縦	横	面積
縦壁正面							K-1	0.40 × 0.10=	0.04
合計			0.00			0.00			0.04



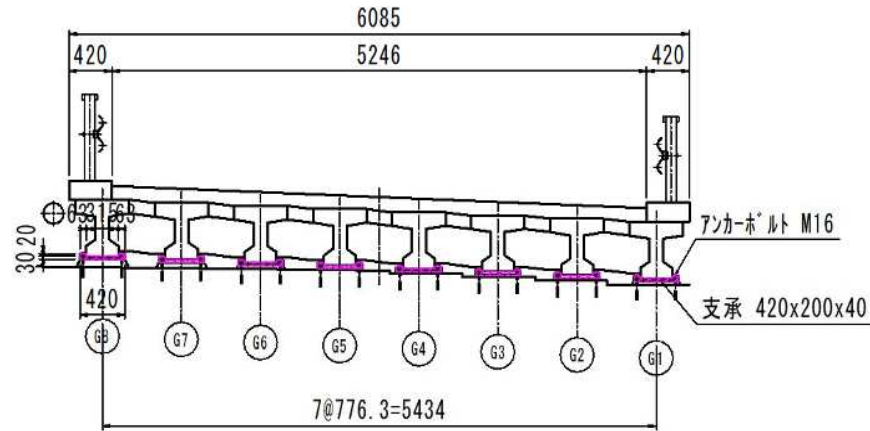


#### 4. 塗装塗替え工

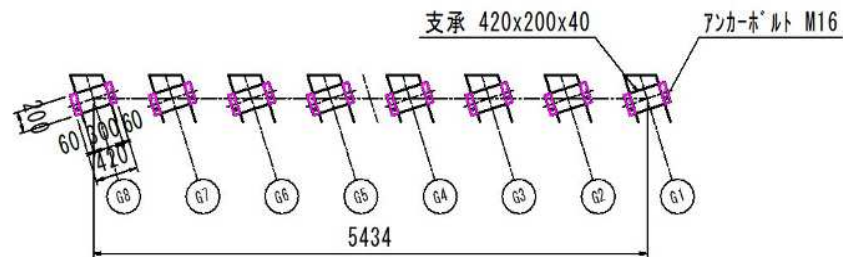
##### 1) 支承面積

A1 支承

正面図

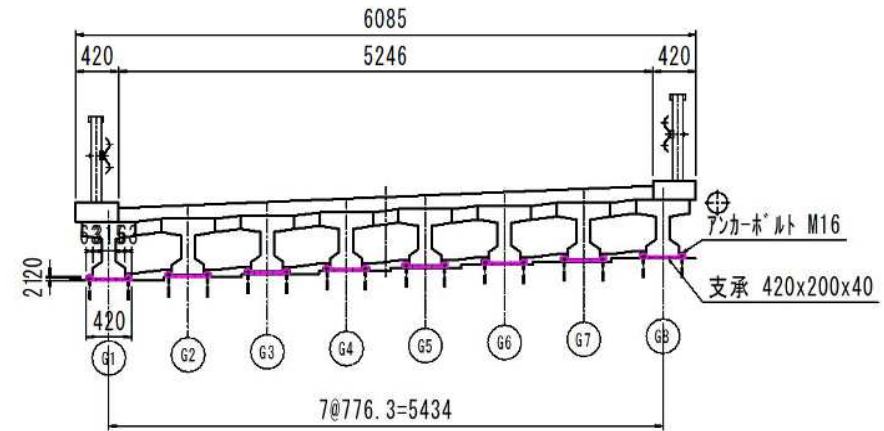


平面図

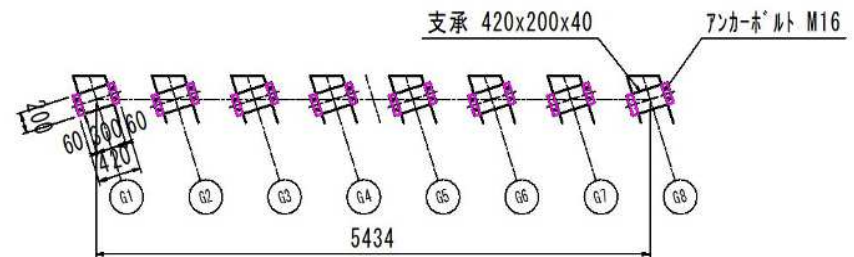


A2 支承

正面図

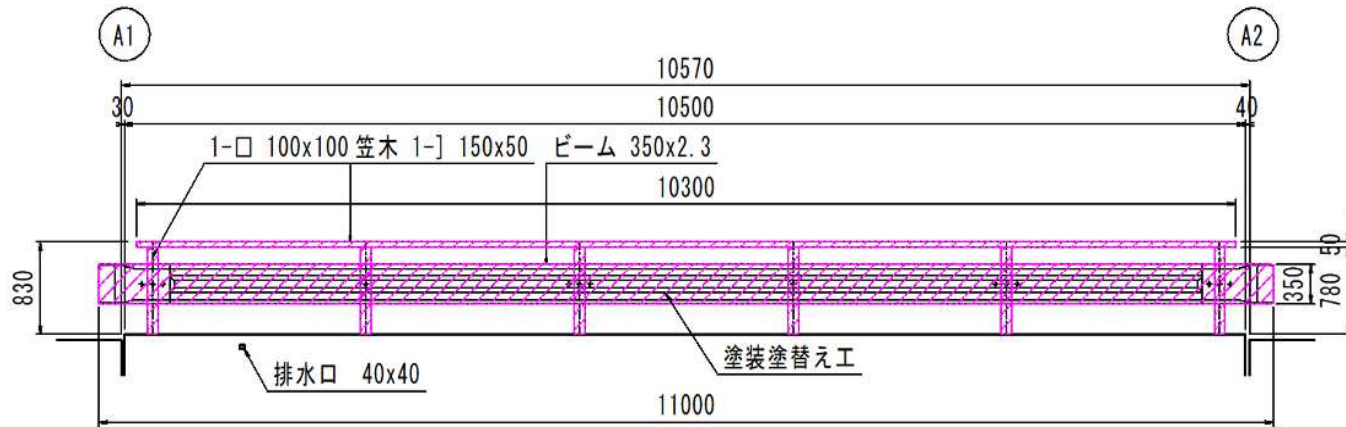


平面図

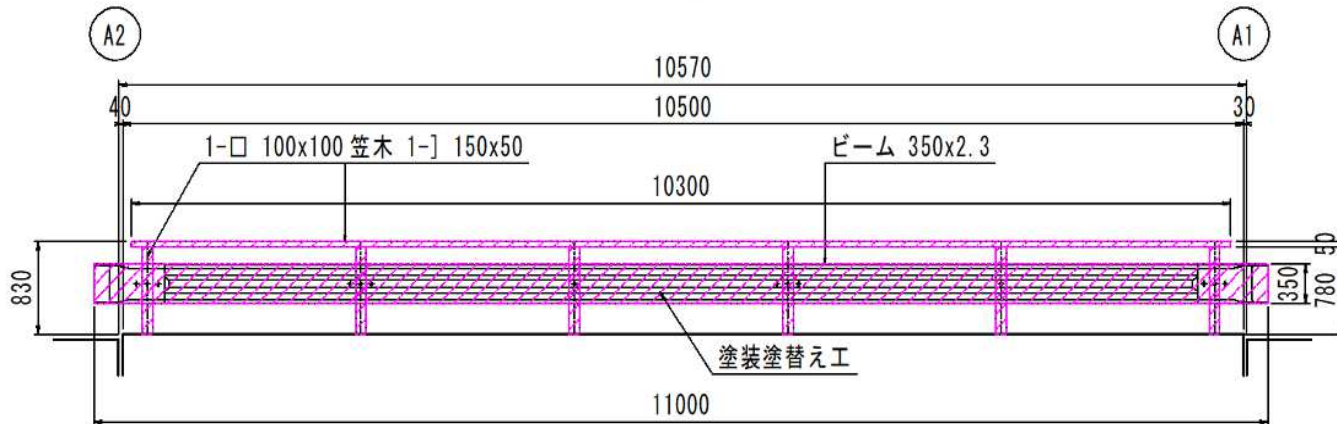


2) 高欄面積

左側車両防護正面図



右側車両防護正面図











## 5.舗装工数量

### 5-1 舗装補修工

アスファルト舗装(t=5cm)

$$A = 10.99 \times 5.00 = 54.95 \text{ m}^2$$

### 5-2 目地補修工

#### (1) 目地補修工(A)

A1橋台 W=30mm d=60mm

##### 1) 目地切削工

$$L = 6.1 = 6.1 \text{ m}$$

##### 2) 常温注入目地材

$$L = 6.1$$

$$W = 0.030 \times 6.10 \times 0.060 \times 1000 \times 1.33 = 14.6 \text{ kg}$$

##### 3) バックアップ材

$$L = 6.1$$

$$\text{リットル} = 0.030 \times 6.1 \times 0.06 \times 1000 = 10.98 \text{ リットル}$$

#### (2) 目地補修工(B)

A2橋台 W=40mm d=80mm

##### 1) 目地切削工

$$L = 6.1 = 6.1 \text{ m}$$

##### 2) 常温注入目地材

$$L = 6.1$$

$$W = 0.040 \times 6.10 \times 0.080 \times 1000 \times 1.33 = 25.96 \text{ kg}$$

##### 3) バックアップ材

$$L = 6.1$$

$$\text{リットル} = 0.040 \times 6.1 \times 0.08 \times 1000 = 19.52 \text{ リットル}$$

#### (2) クラック抑制シート B=0.50m,L=5.20m

$$L = 5.2 + 5.2 = 10.4 \text{ m}$$

## 6. 構造物撤去工数量

(1) 路面切削工 t=5cm

$$10.99 \times 5.00 = 54.95 \text{ m}^2$$

(2) 殻処分 (As)

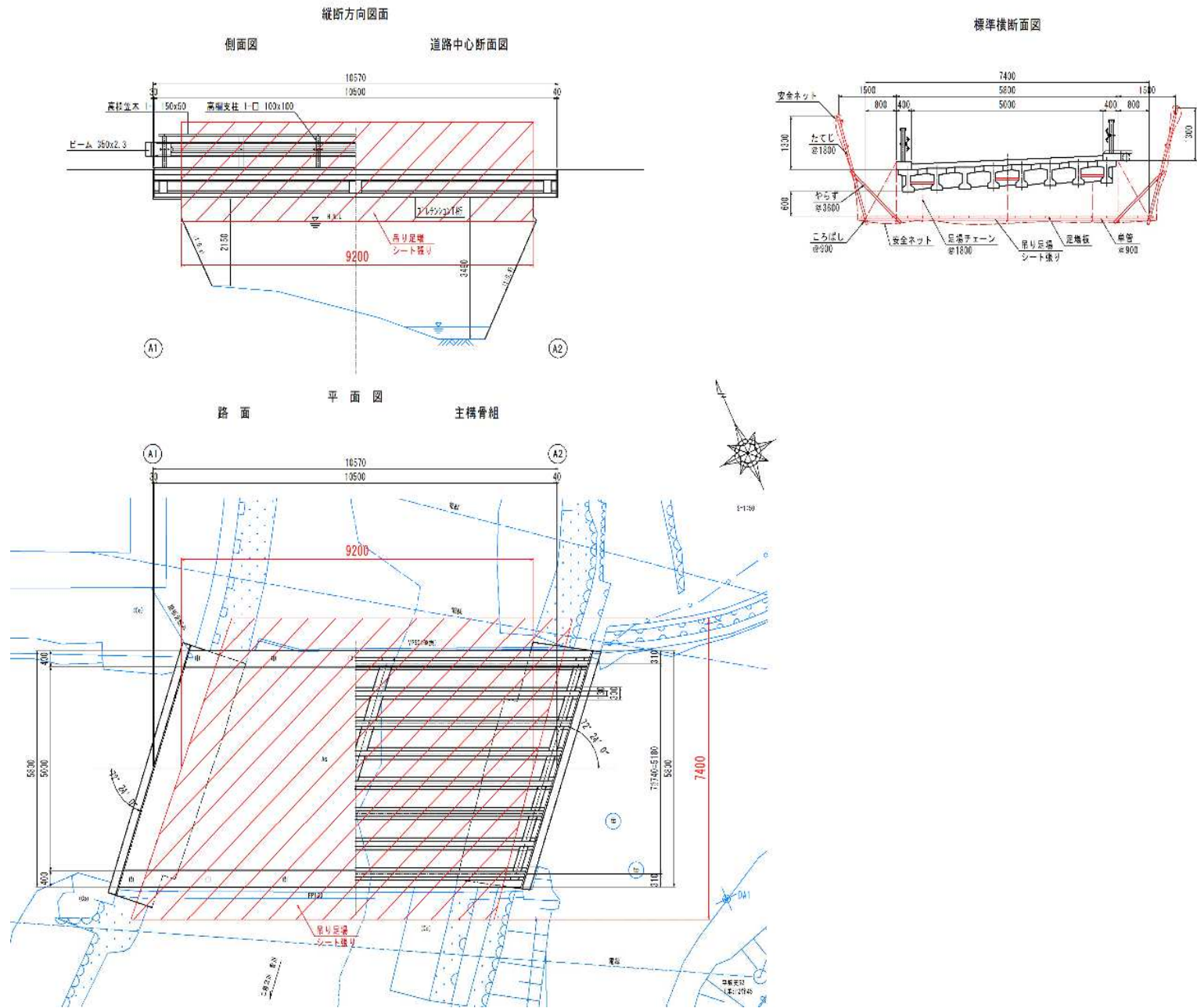
$$54.95 \times 0.05 = 2.80 \text{ m}^3$$

$$2.8 \times 2.35 = 6.58 \text{ t}$$



# 7.仮設工数量

## 7-1.吊足場



吊足場 (防護工の必要橋面積)

$A = 9.20 \times 5.8$

53.36 m<sup>2</sup>

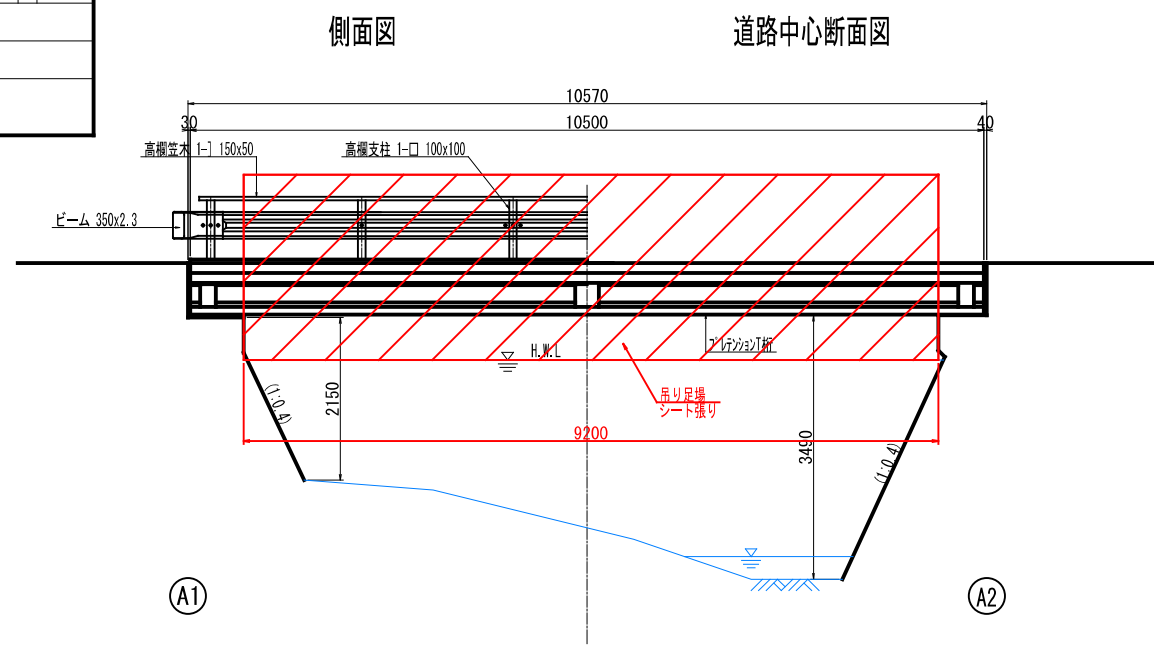
# 参 考 図

— 橋梁補修工事（市道本郷町鬼の釜1号線姥ヶ原橋） —

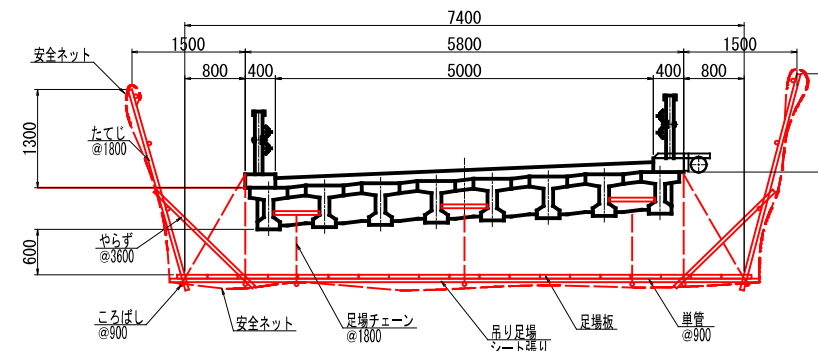
図面番号	1	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事 (市道本郷町鬼の釜1号線焼ヶ原橋)		
種別	施工計画図(参考図)	番号	
路線名	市道本郷町鬼の釜1号線		
工事箇所	三原市本郷町船木		
<b>三原市</b>			

施工計画図(参考図) S=1:50

縦断方向図面



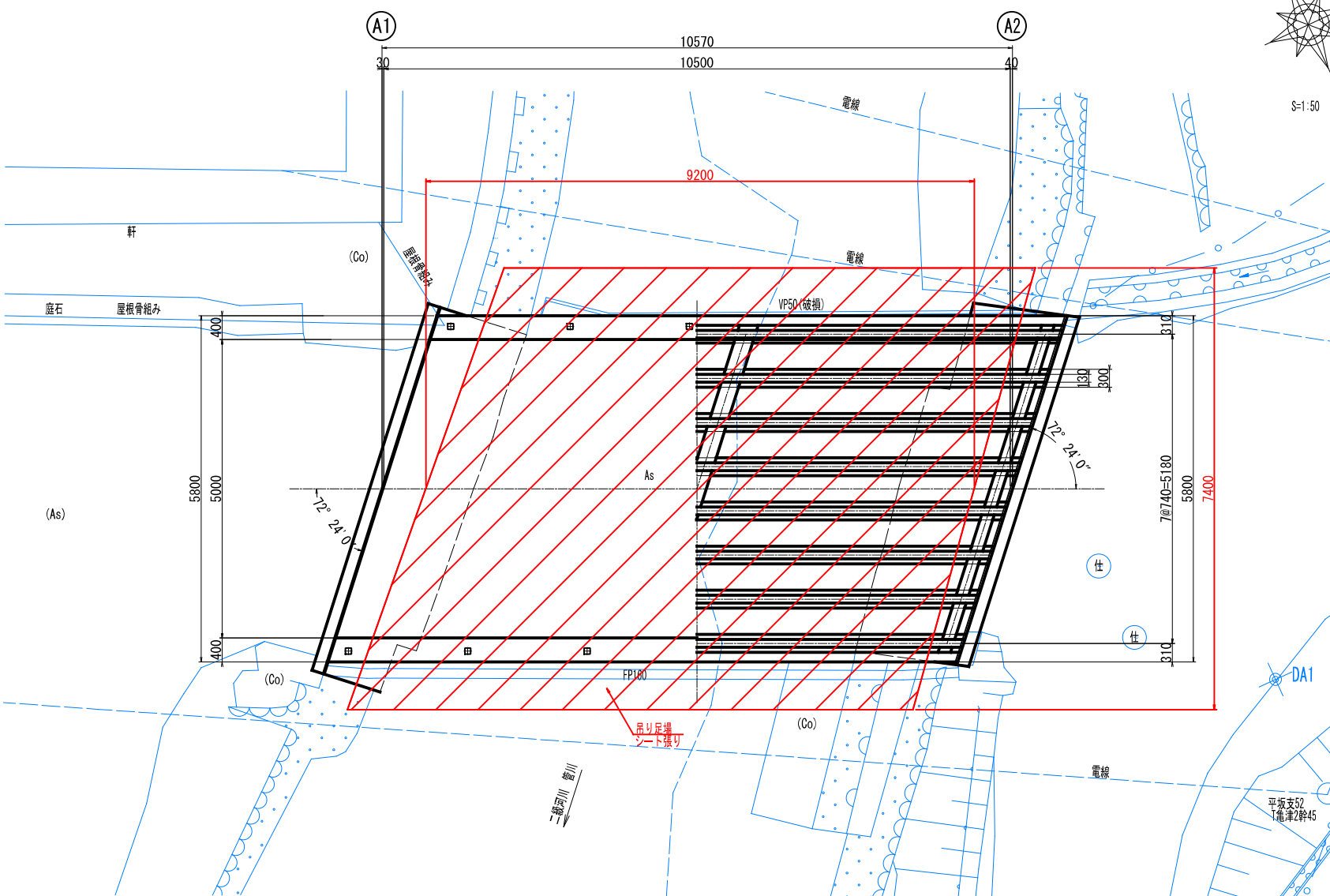
標準横断面図



工種	規格・仕様	単位	算式	数量
吊足場	桁高<1.5	m <sup>2</sup>	9.20x5.80	53.4

本図は現地簡易計測結果をもとに作成したものである。  
 施工前に本図をもとに詳細計測を行い、補修材料の仕様・数量等を確定し施工すること。

路面 平面図 主構骨組



# 位置図



※地理院タイルを利用しています (URL <http://maps.gsi.go.jp>)。

縮尺:1/10,000

緯度:34度26分56.57秒  
経度:132度58分52.2秒

